

社会資本整備総合交付金（中間評価）

子ども達が安心して通える

交通安全プログラムに基づく通学路整備

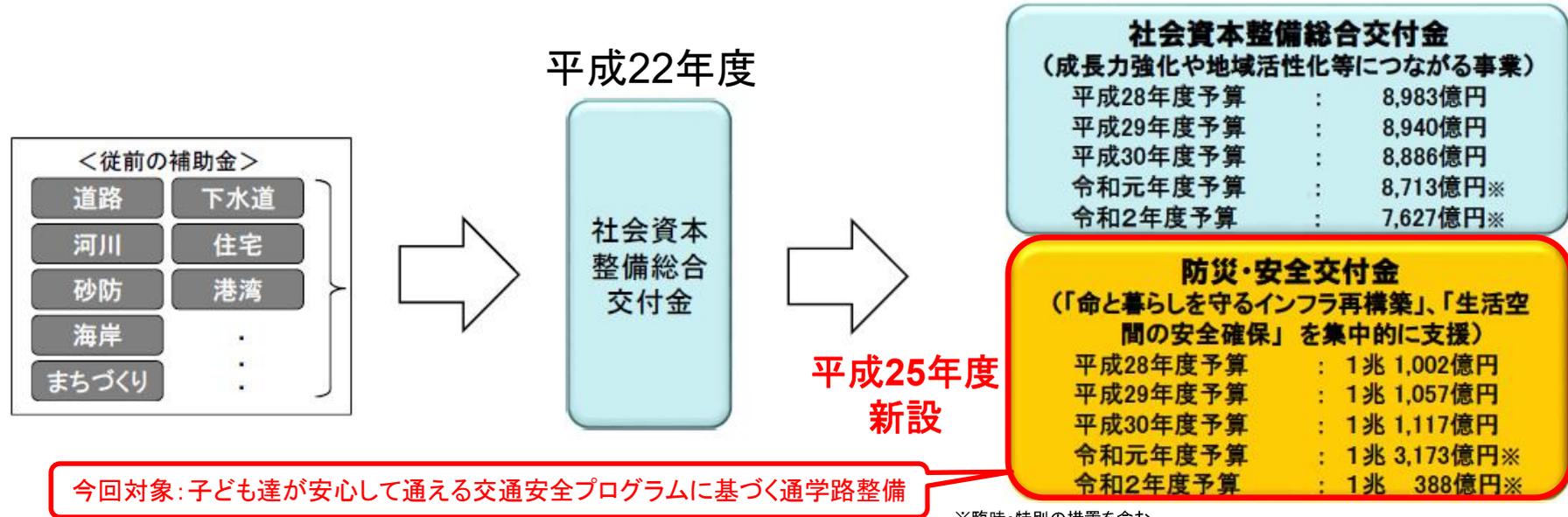


滋賀県土木交通部
道路整備課・道路保全課

◆社会資本整備総合交付金の概要

- ◇ 社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。
- ◇ 防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。

平成25年度～



※臨時・特別の措置を含む。
 ・令和元年度予算 社会資本整備総合交付金:350億円、防災・安全交付金:2,767億円
 ・令和2年度予算 社会資本整備総合交付金:349億円、防災・安全交付金:2,541億円

両交付金の概要

- ◇ 地方公共団体は、地域が抱える政策課題を自ら抽出し、定量的な指標による目標を設定した、おおむね3～5年の「社会資本総合整備計画」を作成。(国は整備計画に対して国費を配分)
- ◇ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業(要素事業)へ国費を充当。
- ◇ 基幹事業(道路、河川等の16事業)の効果を一層高めるソフト事業(効果促進事業)についても、一定の範囲内で創意工夫を生かして実施可能。
- ◇ 地方公共団体が、自ら整備計画の事前評価・事後評価を実施し、HP等により公表。

◆滋賀県の道路事業における交付金の整備計画

■社会資本整備総合交付金の整備計画一覧

計画番号	計画名称	計画期間
18	子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備	R5～R9
29	29. 地域の交流と経済活動の活性化を支えるみちづくり	R6～R10
37	計画的な修繕および防災対策による信頼性の高いみちづくり（法面・舗装・附属物等）	R5～R9
54	昇竜道を基軸とした岐阜・滋賀の歴史・文化・自然を生かした 周遊観光による広域的地域活性化計画	R7～R11
54	昇竜道を基軸とした岐阜・滋賀の歴史・文化・自然を生かした 周遊観光による広域的地域活性化計画（重点③）	R7～R11
55	琵琶湖・若狭湾を結ぶ周遊観光を促進する福井・滋賀の広域的地域活性化計画（重点③）	R7～R11
56	京奈和自転車道とビワイチを基軸とした歴史・文化を体感する自転車周遊による 広域観光活性化計画	R3～R7
57	鈴鹿山脈を越え∞の観光交流促進へ三重・滋賀広域活性化計画	R3～R7
57	鈴鹿山脈を越え∞の観光交流促進へ三重・滋賀広域活性化計画（重点③）	R3～R7
77	77. 「ビワイチ」からひろげる自転車通行空間整備計画（防災・安全）	R7～R11
80	国土強靱化地域計画に基づく災害に強い道づくり（防災・安全）	R3～R7



: 評価対象



: 重点配分対象

◆整備計画の概要



～子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備～

1.交付金名 防災・安全交付金

2.計画番号 P a (パッケージ) 1 8

3.事業主体 滋賀県、14市町※

※大津市、草津市、東近江市の市道事業は市単独の計画、日野町、愛荘町は補助事業で実施

4.事業期間 令和5年度～令和9年度(5年間)

5.事業数 97事業(県:48事業、市町49事業)

6.目標 通学路における交通安全の確保については、緊急合同点検等を踏まえて継続的に取り組んでいるところであるが、依然として通学路に関する注目度は高く、通学路の交通安全の確保が求められている。

引き続き、文部科学省・国土交通省・警察庁が連携して推進している**通学路交通安全プログラムに基づき中高生の自転車通学および小学生の通学路の交通安全の確保**を早急に図る。

7.計画の成果目標(定量的指標)

通学路交通安全プログラムに基づく箇所の**通学路安全対策率** ※70%
(中間目標値(R7):35%、最終目標値(R9):70%)

※通学路安全対策率(%)=通学路安全対策済み箇所/通学路安全対策必要箇所

◆通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策

各市町で策定している通学路交通安全プログラムに位置付けられている交通安全対策について、重点配分の本整備計画により事業を実施している。

策定にあたっては、道路管理者や教育委員会、学校関係者、警察等で合同点検を行い、対策内容について協議会等で合意形成を図っている。

合同点検状況



路線	箇所	通学路の状況・危険の内容	対策内容				
			対策	小学校区	事業主体	対策年度	
草津市通学路等安全対策実施プログラム ～通学路等の安全確保に関する対策実施要領～ 令和7年12月 草津市通学路等安全対策実施会議							
市道青地馬場線	草津市馬場町	道路幅員が狭く、危険である。	路肩改良 L=190m	志津	市	平成28年度～	
市道追分南79号線	草津市追分南四丁目	道路幅員が狭く、危険である。	現道改良 L=90m	志津南	市	平成26年度～	
市道大路15号線	草津市大路二丁目、三丁目	現在の通学路が狭く、車輦、自転車、歩行者が輻輳し、危険である。	バイパス整備 (道路改良) L=0.3km	草津第二	市	平成26年度～	
市道新草津川北線	草津市東草津二丁目	現在の通学路では迂回しなければならないことに加えて、道路幅員が狭く、危険である。	バイパス整備 L=40m	草津	市	平成26年度～	
市道東草津北1号線	草津市東草津三丁目	歩道や路側帯がない箇所を通行しなければならず、危険である。	現道改良 L=35m	草津	市	平成27年度～	
一般県道草津停車場線	草津市大路一丁目、二丁目	自転車及び歩行者が輻輳し、危険である。	歩道改良 L=700m	草津第二	県	平成28年度～	
市道草津駅下笠線 市道野村平井中央線 他	草津市西大路町 草津市西洪川一丁目 草津市野村一丁目 草津市野村八丁目 他	歩行者が多く、車両の乗入口と交差点の隅切りに段差があり、危険である。	歩道改良 L=1.1km	草津第二 洪川	市	平成26年度～	
市道矢橋南笠野路線 市道矢橋新浜線 市道矢橋13号線 市道矢橋33号線	草津市矢橋町	平成28年4月開校の老上西小学校の通学路であるが、歩道がないため、多くの児童が通行するに当たり危険である。	歩道整備 L=800m	老上西	市	平成27年度～	
市道木川川原線 他	市内通学路全域	車輦が路側帯を通行し、危険である。	路側帯カラー舗装 L=14.5km	全区区	市	平成26年度～	
10	市道追分矢倉南山田線 (野上池工区)	草津市追分五丁目・八丁目	歩道や路側帯がない箇所を通行しなければならず、危険である。	歩道整備 L=280m	志津	市	平成28年度～
11	一般県道片岡栗東線	草津市芦浦町	一部歩道未整備区間あり。	歩道整備 L=60m	常盤	県	平成29年度～
12	一般県道下笠大路井線	草津市野村三丁目	道路幅員が狭く、危険である。	現道改良L=200m 交差点改良1箇所	笠縫	県	平成29年度～

(参考)
草津市通学路等
安全対策実施プログラム

◆計画の概要

事業の内訳



通学路交通安全プログラムの対策必要箇所のうち、本整備計画では、滋賀県・14市町の計345箇所の対策を位置付けており、要素事業数としては97事業。

事業の種類	主な事業内容	事業数	
		県	市町
歩道整備	現道において、新たに歩道を整備する。	51	
		30	21
バイパス ・現道拡幅整備	バイパス・現道拡幅事業とあわせて、歩道を整備する。	20	
		15	5
簡易歩行空間整備	路肩へのグリーンベルト設置、路肩拡幅を行う。	11	
		0	11
交差点改良	交差点改良により歩行者通行の安全を確保する。	3	
		3	0
その他	点検に基づく安全対策(防護柵設置など)を実施する。	12	
		0	12
合 計		97	
		48	49

◆ 中間評価の実施

滋賀県公共事業等計画評価実施要綱

第3 中間評価および事後評価の内容

1 知事は、次に掲げる事項について**中間評価**を行うものとする。

- (1) **事業の進捗状況**
- (2) **事業効果の発現状況**
- (3) **評価指標の目標値の実現状況**

2 知事は、次に掲げる事項について事後評価を行い、今後の方針の案を作成するものとする。

- (1) 事業の進捗状況
- (2) 事業効果の発現状況
- (3) 評価指標の目標値の実現状況

中間評価にて主要な事業を選定

(4) **主要な事業**に関する次の事項

- ア 事業を巡る社会経済情勢等の変化
- イ 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化
- ウ コスト縮減および代替案立案等の可能性
- エ その他必要と考えられる事項

◆要綱第3-1-(1) 事業の進捗状況 Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備



- ・通学路交通安全プログラムに基づく対策必要箇所数345箇所に対して、**204箇所が対策済み**
- ・整備計画の事業数97事業に対しては、**21事業が完了**（下表参照）

事業の種類	事業数(a)		中間時(R7末)の完了数(b)		中間時(R7末)の進捗率(b)/(a)	
	県	市町	県	市町	県	市町
歩道整備	51		9		17.6%	
	30	21	3	6	10.0%	28.6%
バイパス ・現道拡幅整備	20		3		15.0%	
	15	5	2	1	13.3%	20.0%
簡易歩行空間整備	11		6		54.5%	
	0	11	0	6	—	54.5%
交差点改良	3		1		33.3%	
	3	0	1	0	33.3%	—
その他	12		2		16.7%	
	0	12	0	2	—	16.7%
合計	97		21		21.6%	
	48	49	6	15	12.5%	32.7%

※通学路交通安全プログラムの複数の対策必要箇所をまとめて1事業としている場合がある

◆要綱第3-1-(2) 事業効果の発現状況 Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備

■ 路線名：一般県道片岡栗東線

■ 整備箇所：草津市^{あしうら}芦浦町

■ 工期：H30～R6

■ 整備内容：歩道整備

■ 事業延長：L=70 m

■ 位置図



■ 整備状況



整備前



整備後



◆要綱第3-1-(2) 事業効果の発現状況 Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備

- 路線名：一般国道307号
- 整備箇所：甲賀市水口町秋葉
- 工期：R6～R8
- 整備内容：歩道整備（秋葉橋側道橋）
- 事業延長：L=100 m
- 位置図

■ 整備状況

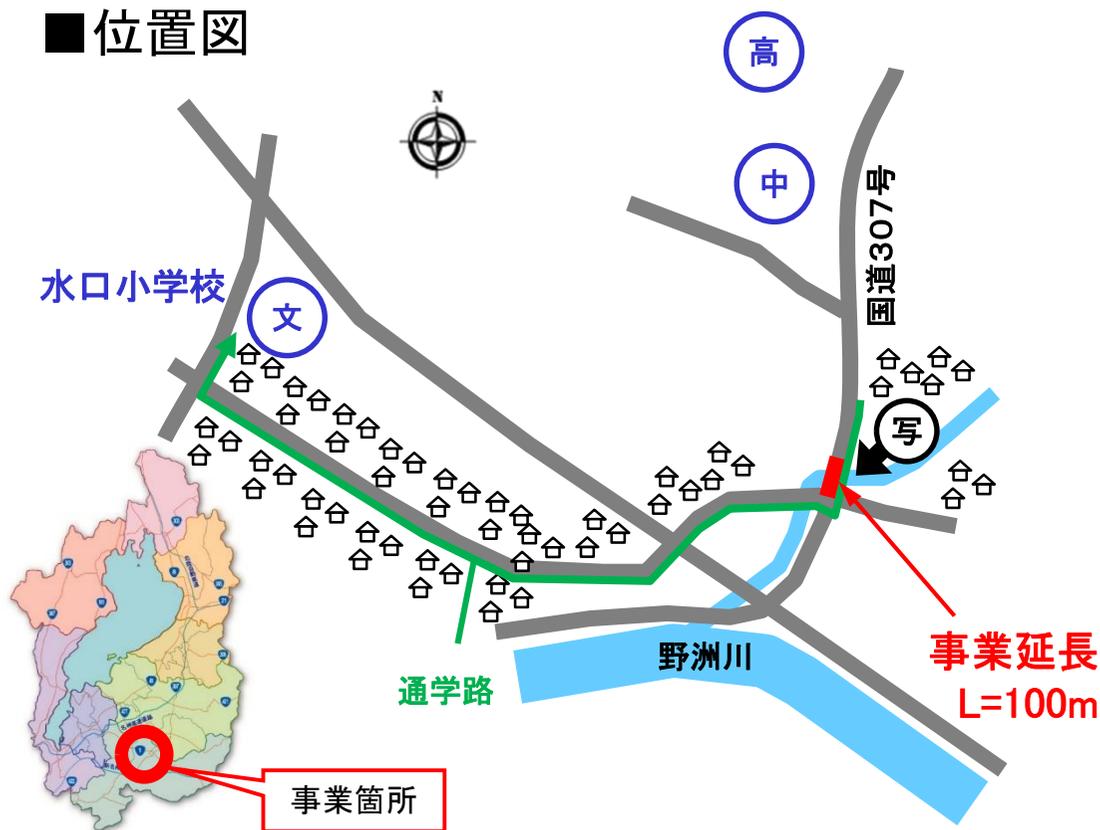


整備前



今春 側道橋完成予定

整備中



◆要綱第3-1-(2) 事業効果の発現状況 Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備

■その他 市町事業の紹介

吉身小学校1号線(守山市吉身三丁目) グリーンベルト整備



桐山1号線(湖南市高松町) 歩道整備



◆要綱第3-1-(3) 評価指標の目標値の実現状況 Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備



■計画の成果目標

・通学路交通安全プログラムに基づく箇所を通学路安全対策率70%(中間目標値:35%)

■算定式

・通学路安全対策率(%) = 通学路安全対策済み箇所 / 通学路安全対策必要箇所[※]

※各市町の通学路交通安全プログラムの対策必要箇所のこと(整備計画の要素事業数とは異なる)

■計画の成果目標の中間目標値および実績値

【通学路安全対策率】

	目標値	実績値
当初(R5)	0 %	
中間年(R7年度末)	35 %	59 %
最終年(R9年度末)	70 %	%

通学路安全対策済み箇所 : 204 (箇所)
通学路安全対策必要箇所 : 345 (箇所)

◆ 主要な事業の選定について Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備



要件

県が事業主体となって実施する公共事業で、かつ、①②いずれかに該当するもの

①計画最終年度(R9)において事業採択後5年以上を経過した時点で未着工の事業

②計画最終年度(R9)において事業採択後10年以上経過し継続中の事業

※「事業採択」とは国庫補助事業については「国の事業採択通知を受け事業費が予算化された時点」、単独事業については、「詳細設計に着手した時点」

※「未着工の事業」とは「用地買収手続きと工事のいずれにも着手していない事業」



要件① : なし

要件② : 7事業

◆ 主要な事業の選定について Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備



要件② 7事業 一覧

番号	路線名	工区名	事業延長	事業着手	備考
A01-001	草津伊賀線	野田・池田	2.2km	2000年度	歩道整備
A01-010	長浜近江線	宇賀野	1.0km	2012年度	歩道整備
A01-011	近江八幡竜王線	千僧供・倉橋部	1.8km	2017年度	別Paへ移行
A01-019	小浜朽木高島線	中野	1.7km	2010年度	別Paへ移行
A01-026	木之本高月線	雨森・馬上	2.1km	2013年度	現道拡幅
A01-027	国道307号	斧磨	1.5km	2011年度	歩道整備
A01-030	栗東信楽線	林・六地蔵	1.6km	2011年度	バイパス整備

よきとき
➔ 国道307号 斧磨工区 を選定

◆主要な事業の選定について Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備

よきとき 国道307号(斧磨工区)

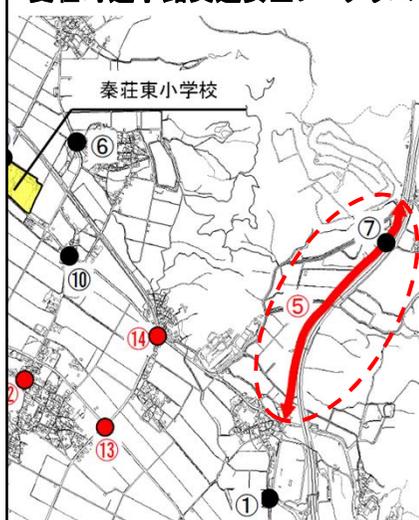
位置図



当路線の特徴

- ・ 国道307号は、彦根市の国道8号を起点に湖東・東近江・甲賀地域を經由し、大阪府枚方市に至る重要路線。
- ・ 名神高速道路から沿線工場へのアクセス道路となっており、大型車交通量が非常に多い。
- ・ 当該区間は、愛荘町通学路交通安全プログラムに、秦荘東小学校通学路の歩道新設箇所として位置付けられている。

愛荘町通学路交通安全プログラム



現況写真



◆ 主要な事業の選定について Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備

国道307号よきとき(斧磨工区)

- 着手年度: 2011年度 (H23年度)
- 完了予定: 2037年度 (R19年度)
- 全体事業費: 6億円

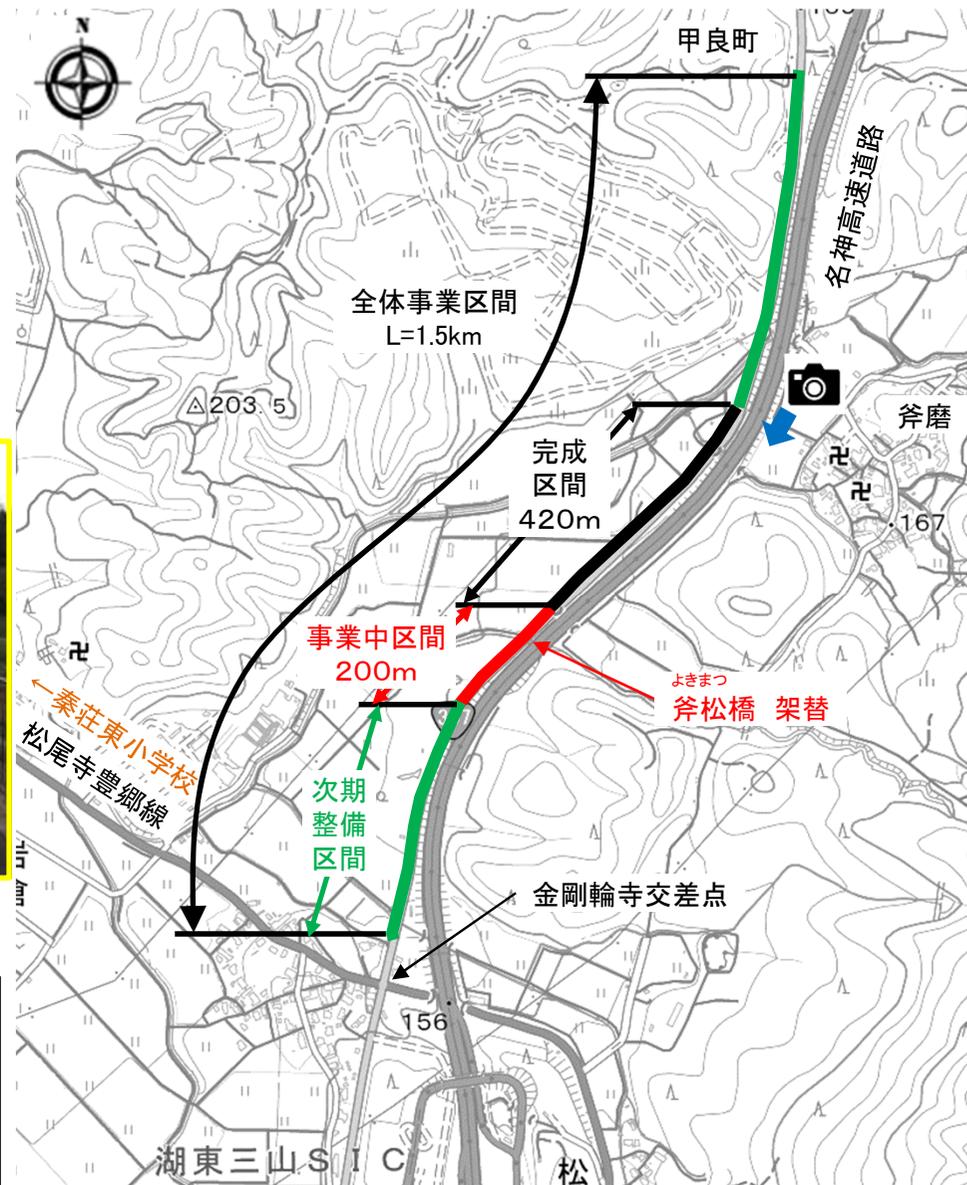
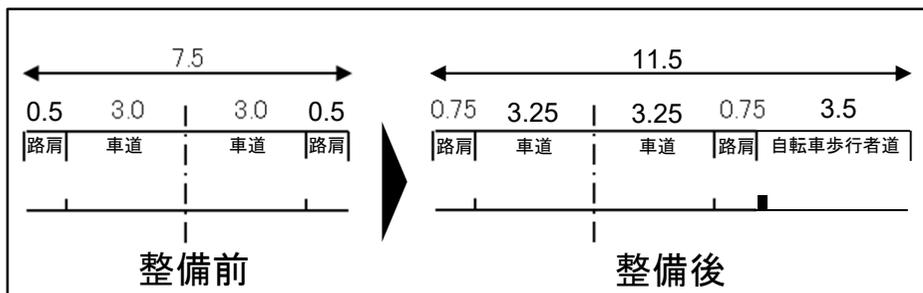
車道拡幅と歩道整備を一体的に行うことにより安全性と利便性を確保する。



完成区間状況



登下校状況



◆ 中間評価まとめ Pa18

子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備



①事業の進捗状況

- ➡ 通学路交通安全プログラムに基づく通学路安全対策必要箇所345箇所のうち、**対策済み箇所は、204箇所**である。
整備計画の事業数としては、97事業のうち、**完了事業は21事業**である。

②事業効果の発現状況

- 片岡栗東線の歩道整備事業等、通学路安全対策必要箇所を解消することにより、
➡ **通学路の安全性向上**等につながっている。

③評価指標の目標値の実現状況

- 通学路交通安全プログラムに基づく箇所の通学路安全対策率は、
➡ 中間年目標値35%に対して、実績値は**59%**であった。

④主要な事業の選定

- 国道307号(斧磨工区)**の歩道整備事業を選定。